

令和5年度 こども家庭科学研究費補助金  
(成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業(健やか次世代育成総合研究事業))  
子どもの死亡を検証し予防に活かす包括的制度を確立するための研究  
分担研究報告書

テキストデータからの CDR 情報抽出

研究分担者 川口敦 聖マリアンナ医科大学 小児科学講座 小児集中治療科

研究協力者 小林泰之 聖マリアンナ医科大学 医療情報処理技術応用  
宮下徳久 聖マリアンナ医科大学 医療情報処理技術応用

研究要旨

現時点で国内において各自治体等で実施されている CDR 事業は統一された情報収集方法等が用いられず、また諸外国で一般的に使用されているデータ利用、解析を念頭に作成されたフォーマットなども存在しない。また、実際の CDR でも、主に医療機関から提供されたテキスト情報をもとに、参加者が CDR に必要と考えられる情報を抜粋抽出することになり、それらの情報をもとに CDR が実施されている。さらに実際の CDR での議論についても主にテキストデータ(手書き、アナログなど)が記録として用いられているため、記録から客観的な追加考察や必要データ抽出を行うことは容易ではない。本研究では、病院診療情報から、生成人工知能やテキストマイニングツールを用いて、CDR に必要なデータ(米国 CDR データテンプレートなど参照)の抽出が行えるかを検討する。令和5年度は、まず予備的検討を開始するため、利用しうるツールを探索し、小児死亡症例に関する病院診療情報を参照して模擬テキスト情報を準備した。

A. 研究目的

CDR 実施およびそのデータの利活用に必要な患者情報をテキスト情報から抽出する。

ストマイニングツールおよび生成 AI (以下「解析ツール」)の利用準備を行なっている。

2024 年 10 月までに予備的検討のための加工データを準備し、その後、当該データに複数の解析ツールを適用して分析結果の比較を行う予定である。

B. 研究方法

聖マリアンナ医科大学病院、兵庫県立こども病院における院内あるいは院外死亡事案を参照し、模擬的な診療録テキスト情報の生成を開始した。また既存の複数の生成人工知能やテキストマイニングツールを横断的に探索し、当該情報に適用して CDR に必要なデータ(米国 CDR データテンプレートなど参照)の抽出を行いうるかの予備検討を行った。

D. 考察

(特記すべきことなし)

E. 結論

(特記すべきことなし)

C. 研究結果

2024 年 4 月現在加工データを作成中であり、また米国 CDR データテンプレートの入手、テキ

F. 健康危機情報

(特記すべきことなし)

G. 研究発表

1. 論文発表

2. 学会発表

1. 特許取得

2. 実用新案登録

3. その他

H. 知的財産権の出願・登録状況